



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和4年3月1日 第11号  
小笠原村立小笠原中学校  
校長 小野満賢

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>

変更になりました



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 帰る場所があるから前に進んでいける

校長 小野満賢

今年も感染症対策のために縮小したかたちで行われた成人式ですが、臨席を許され、新成人の晴れ姿を間近で見ることができてとても嬉しく思いました。

彼らは私が赴任した年の高校3年生で、直接教えたり話をしたりしたことはありません。でも、村を挙げて行われた小中高連合運動会で、島の最上級生として堂々と「全力」の姿を見せてくれたこともあってとても印象に残っているのです。今回、この1月1日の成人式のために19人全員が父島に集まったと聞いて驚きました。

この島では、新成人一人一人が壇上で言葉を述べます。大きい自治体なら、「代表の挨拶」となるのですが、ここでは全員が自分の言葉で語る機会があるのです。特に「きまり」も、「時間の制限」も無いようです。中学または高校を卒業した後に皆で集まるのは初めてなので、再会した新成人が何を語るのか会場の期待も高まります。一身に注目を浴びて話さなければならないので緊張もするのですが、形式的なものではなく、本人が体験したこと、感じていることなどを素直な言葉で語るの、聞いている人の心にまっすぐに伝わります。

今回は、彼らの進学などの時期とちょうど重なった新型コロナウイルス感染症や、人間関係を一から築かなければならないという島とは対極にある内地での生活で、思うようにいかなかった様々なことが語られました。期待に胸を膨らませ一人暮らしを始めたにもかかわらず、コロナ禍で学校にも通えない、バイトにも行けない日々が続いたと言います。友人と会うこともできず、家に閉じこもり、孤独で不安な毎日が過ぎていったと涙ながらに話す人もいて胸が痛くなりました。しかし昨年になってようやく学校にも通えるようになり、進路実現への道筋が見えてきたことや、様々なコミュニティとの関わりもでき、苦労しつつも新たな人間関係が広がりつつあるという話にほっと胸をなでおろしました。

新成人の姿を見ながら、私は小笠原中の皆さんの一人一人の顔を思い浮かべました。そう遠くない未来に皆さんも成人式の壇上に立つ日が来ます。皆さんは何を語るのでしょうか。おそらくその時にも、なかなか思ったようには進まない現実に悩み、もがいている自分の姿を語るのではないのでしょうか。でも、「悩み、もがくこと」こそが、自分の道を自分の足で歩いているという証（あかし）なのだと思います。

人生はまさに「思うようにいかない日々」の連続です。どんなに努力をしても報われないことがたくさんあります。自分ではどうしようもないことに振り回されることも数えきれないほどあります。これから大人になる皆さんは、様々な困難に嫌でも立ち向かわなければなりません。時には現実の厳しさに打ちのめされることもあるでしょう。大事なことは倒れないことではなく、倒れても心折れずに再び立ち上がる強さです。

学校で先生たちが皆さんに口すっぱく伝えていること、例えば「苦手なことにも挑戦すること」「嫌なことにも目を背けず向き合うこと」「約束や期限・時間を守ること」「挨拶や返事をしっかりすること」「コミュニケーション力を磨くこと」「感謝の気持ちを忘れないこと」「困ったときには人に相談したり助けを求めたりすること」などは、実は私を含めて大人でも完璧にできる人はなかなかいないのだと思います。このスキルは一生をかけて磨いていかなければならないのでしょうか。大人でもそういうことを自然にできるようになりたい、そんな人でありたいと日々もがいているのです。でも人生の少しばかり先を行く先輩として、皆さんがそれを身に付けることがとても大事なことで、多くの思うようにいかない場面で、皆さんを導く光になってくれることを知っているのです。ですから中学生の皆さんにはぜひ少しずつでも身に付けられるように努力してほしいと思っています。今なら失敗しても何度でもやり直せるチャンスがあるのですから。

ある人が涙で声を詰まらせながら、こう話していました。「久しぶりに帰ってきた小笠原は昔と何も変わらない青い空と青い海が広がっていました。当たり前のように島の人が『おかえり』と声をかけてくれて、その優しさや温かさが嬉しくて、とてもありがたかったです。」

新成人を乗せたおがさわら丸は、2日には内地に向けて出港しました。島で過ごしたのは僅かな日数でした



が、間違いなく新成人たちの何にも代え難いエネルギーになり、これからの生活を支えてくれるのだと思います。そしてまた「思い通りにいかない日々」に立ち向かう勇気やパワーの原動力になるのでしょう。

「いつでも帰っておいで」と言ってくれる人がいるから、そして「おかえり」と迎えてくれる場所があるから、人は前を向いて進んでいけるのだと思います。

## 「1年間を振り返って」

第1学年主任 高田 奈々

「AUTONOMY UNITY MEMORY ～進取果敢～」これは3月に延期実施される母島移動教室でのスローガンです。「自ら考えて行動し、団結するときには団結し、思い出を残そう」という意味が込められています。入学当初を思い返すと、1年生は自分の意見を主張したり、助けてほしいときにヘルプを求めたりすることが苦手な様子が見られました。その分、提出物の期限を守ることやテストで高い点を取ることは、真面目すぎると言っても過言ではないくらいの「責任感」を発揮していました。ここでの「責任感」というのは、「絶対にやらなければならない！」という強い意志を指します。その姿を見ながら学年教員で一致したことは、「バーンアウトにならないように、各個人が向かうべきところに向かわせてあげたい。」という想いでした。

学校教育で行うべきことは「才能の発見と伸長のサポート」と「学校と社会をシームレスに繋ぐこと」だと私は考えていると、5月の学校だよりでもお伝えしましたが、この1年間の学校生活を通して、1年生一人一人が「自分が伸ばしたいこと」の片鱗を見付けることができたり、「将来取り組んでみたいこと」の芽が出てきたりしていると感じています。また、1年生それぞれがもつ創造力と真面目さを掛け合わせていくと、成長の伸びしろだけではなく幅や色の多様さが見えてくると思いますので、今後もお子様の日々の変化や成長を感じながら、また成長の過程を楽しみながら見守っていただければと思います。今年度1年間、「チーム1年生」としてご協力をいただきありがとうございました。

第2学年主任 湯本 美樹

ついこの間入学してきたばかりだと思っていた生徒たちが、もうすぐ3年生になるのかと、時の経つ早さにびっくりしています。いつも明るく元気な所が、2年生の素敵な所です。その素直さを残しつつ、心も身体も大人になってきました。教室の中もなんだか狭く感じます。部活動や委員会でリーダーをしてきている姿に頼もしさも感じる反面、まだまだだと感じる部分もあります。生活のひとつひとつをきちんとすること、学習に自ら取り組むこと、忘れ物もなく提出物もきちんと出すこと、時間を守ること等々、求めたいことはたくさんあります。しかし、次に小笠原中学校を背負うのは紛れもなく今の2年生です。自分を磨き、仲間と一緒に素敵な先輩になってほしいと思います。

第3学年主任 宮本 寛信

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、5月から6月にかけて予定していた修学旅行は10月に延期になりました。当初予定していた行程の変更などがありましたが、たくさんの方々のサポートによって実施することができました。生徒たちにとってかけがえの無い思い出がたくさんできたと思います。また、中学校生活3年間を通して、目標として掲げてきた「自主自律」の集大成として行動することができました。

もう少しで卒業する3年生の成長とさらなる飛躍ができるように、残りの中学校生活を気を引き締めて過ごし、卒業式を迎えたいです。

## 書き初め展

冬休みの課題として取り組んだ書き初めの作品を、先日の学校公開で展示しました。各学年の入賞作品を紹介します。

第1学年

「金賞」

「銀賞」

「銅賞」

第2学年

「金賞」

「銀賞」

「銅賞」

第3学年

「金賞」

「銀賞」

「銅賞」

(敬称略)



## 第1学年 総合発表会

第1学年主任 高田 奈々

1月29日(土)に行われた総合発表会では、1年生の総合的な学習の時間の総括としてプレゼンテーションを行いました。東平外来種駆除活動、母島移動教室事前学習、キャリア学習を通して学んだことや、学習の前後を比較して気付いたこと・考えたことなどをそれぞれが自分の言葉でまとめ発表しました。発表会前日の練習後には「緊張する。」「不安です。」といった声が上がったものの、本番はとて落ち着いて堂々と発表することができました。それは、暗記するのではなく、発表用のスライドを見て自分の言葉で説明する練習を重ねながら、いかにより上手く伝えられるかを考えていたからだと思います。言い回しを改善していたり、想いがより伝わるように声の出し方を工夫していたりする姿を見て、日々の成長を感じるとともに、私自身も背筋が伸びる思いでした。本番では、「一番素敵な姿が見られた。」と学年教員一同感心しました。保護者・地域の皆様、総合的な学習へのご協力をありがとうございました。



## 落語体験教室

文化行事委員会 湯本 美樹

アーツカウンシル東京と日本芸能実演家団体協議会のご協力をいただき、「子供のための伝統文化・芸能体験事業」として、三笑亭夢丸(真打)さん、春風亭昇市(二ツ目)さんによる落語体験教室が2月1日(火)にありました。本来なら落語家さんに来島していただき、体育館に高座を作って実施する予定でしたが、感染症対策のため、オンラインでの実施となりました。生徒は各自手ぬぐいと扇子を持ち、落語特有の仕草を真似てみたり、各学年代表者が小唄をやってみたりと、笑顔があふれた時間になりました。「小学生の時には、話がまったくわからなかったけど、今はわかる。」という感想を言っていた生徒もいました。教室からは笑い声が聞こえ、こんなふうに仲間と一緒に楽しむことのできる「おが中生」は、ととても素敵だなあと思った瞬間でした。



## 第2学年 総合発表会

第2学年担当 佐々木 若葉

1月29日(土)に2年生の総合発表会を行いました。前半は平和学習についてグループで調べたことをプレゼンテーションソフトにまとめて発表しました。本やインターネットで調べた内容に加えて、1学期に板長さんに案内していただいた夜明山戦跡調査や、硫黄島旧島民の会の楠さんから伺ったお話をもとに、戦争について理解を深めた1年間の学びをまとめました。後半は、職場体験学習の様子をスライドショーにして報告を行いました。活動写真に合わせて、全員が職場体験で学んだことや感じたこと、成長したことを客席の皆さんに向けてしっかりと話すことができました。昨年度の総合発表会から身体も一段と大きくなり、自分の思いを人前で堂々と話す姿から、まもなく最上級生となる生徒たちの成長を感じることができました。



## 新入生説明会 体験授業

英語科担当 高田 奈々

2月3日(水)に新入生説明会の体験授業として「英語の発音講座」を行いました。「中学校の授業を体験してみる。」というのが主旨ですが、小中連携の一環として小学校の外国語や外国語活動でも生かせる内容として「発音」の学習を取り上げました。発音の仕方が描かれている48枚のカードを用いてアルファベット1つ1つの音の出し方を説明し、発音練習を行いました。このカード作成には中学1年生が力を貸してくれました。ありがとうございました。タブレット端末を用いることで、物理的な距離を取りつつ、画面を通して教師の口元を見ながら発音を確認することができるので、感染症対策にも適した方法で英語の発話には欠かせない発音練習ができました。この体験授業の後も、小学校の授業や休み時間でカードを使用していると伺い、中学校入学に向けての励みになっていたら嬉しいです。英語以外の教科でもより深い学びができることや様々な中学校の行事も楽しみにしていただきたいと思います。



# 道徳授業地区公開講座

道徳授業推進教師 佐々木 若葉

2月11日(金)に全学年で道徳授業地区公開講座が行われました。1学年は「相互理解」について学ぶ『自分だけ「余り」になってしまう…』、2学年は「よりよく生きる喜び」について考える『足袋の季節』、3学年は「遵法精神」に関する『二通の手紙』を取り上げました。当日はたくさんの保護者・地域の方に参観していただき、その後行った意見交換会でも活発な意見が交わされました。今年度は道徳授業でも一人一台のICT端末(タブレット端末)を活用した授業が多く展開されています。意見交換会では、ICT端末を使った道徳の学び方についても、保護者や地域の皆様、そして授業を受ける生徒の目線から感想を聞くことができました。



第1学年の授業



第2学年の授業



第3学年の授業



意見交換会

## 3月実施予定の学校行事

**母島移動教室** 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も延期となっていました母島移動教室を、3月6日(日)から8日(火)の2泊3日で実施します。自分たちで立てた計画に基づいて徒歩で巡る班行動、営農研究所・農園見学、石門登山、戦跡巡り、ビーチクリーン等、様々な活動や体験を予定しています。

**音楽発表会・3年生を送る会** 12月に予定していました音楽発表会が延期となり、3年生を送る会と同日の3月12日(土)に開催します。音楽発表会では「各学年合唱」「全校吹奏楽」、3年生を送る会では「スライド上映」「文集贈呈」「教職員出し物」「卒業生の言葉」を予定しています。保護者・地域の皆様にもご参観いただきたく存じます。(感染拡大の状況によっては、中止や内容を変更する場合があります。)

**郷土講座** 今年度も地域の皆様のご協力により、3月24日(木)に実施します。イカバケ作り(山田 良一さん)、タコノ葉細工(大井 康代さん)、島料理作り(上部 仁さん)、紙すき(森脇 美知さん)、ガラスコップ作り(猿渡 浩一さん)、ツリーライミング(伊能 越さん)、ボールペン製作(横山 浩一さん)の7講座に分かれて体験学習を行います。ふるさと小笠原の工芸品や料理等の伝統文化に親しむ貴重な機会として、ご指導くださる講師の皆さまに感謝申し上げます。

## 3月の行事予定

3月

- 1日(火) 安全指導 自転車安全点検  
都立高校一次・分割前期募集合格発表
- 2日(水) 生徒会朝礼 芝生の日
- 3日(木) 食育講話 避難訓練 SC勤務
- 4日(金) お弁当の日  
ゲートボール交流会(3年)
- 6日(日) 母島移動教室(1年)始
- 7日(月) 海洋調査講義(3年)
- 8日(火) 海洋調査(3年)  
母島移動教室(1年)終
- 9日(水) 振替休業日(1年)
- 10日(木) 球技大会 職員会議
- 11日(金) 卒業遠足(3年)
- 12日(土) 音楽発表会 3年生を送る会

14日(月) 振替休業日

- 15日(火) 学校朝礼 卒業式予行
- 16日(水) 芝生の日 校内研修
- 17日(木) 卒業式準備 SC勤務
- 18日(金) 卒業式
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) 学校朝礼 保護者会(1・2年)
- 24日(木) 大掃除 郷土講座(1・2年)
- 25日(金) 全体学活 修了式 離任式
- 26日(土) 春季休業日始 見送り式
- 29日(火) 出迎え式

4月

- 4日(月) 春季休業日終
- 5日(火) 始業式
- 6日(水) 入学式